

2023年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	文化スポーツ課
施設名	須坂市旧小田切家住宅		
所在地	須坂市大字須坂423-1		
施設設置目的	旧小田切家住宅の保存を図り、広く公開及び活動するとともに、市民文化の向上に資するため		
施設概要・設備	木造地上一部2階 敷地面積1325.11㎡ 延床面積940.82㎡		
建設年月	2016年3月	指定管理開始年月	2016年4月

【指定管理概要】

指定管理者名	(一財)須坂市文化振興事業団		
指定期間	2022.4.1～2027.3.31		
業務内容	(1) 閲覧及び工房の利用の許可並びに許可の取消し及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 観覧料等の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のため実施する事業に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務		
職員体制	常勤： 3名 非常勤： 3名 合計： 6名		
(専門職、役職等内訳)	学芸員1名		

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2021年度	2022年度	2023年度		
入場者数	人	6,873	5,630	5,301	5,406	102.0%	78.7%
		※2019年度実績値					
特記事項							

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者			市		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
収入	指定管理料		収入	使用料・手数料	
	使用料・手数料				
	その他			その他	
	収入計			収入計	
支出	人件費		支出	指定管理料	
	需用費			修繕費	
	役務費			備品購入費	
	その他			その他	
	支出計			支出計	
管理事業損益 (a)			管理事業損益		

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	
---------------------------------	--

特記事項	収支状況は、文化会館に含む。
------	----------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
合計			自主事業損益(b)

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	入館者からの聞き取り
	(2) 調査等の結果
	約40人からの聞き取り
②利用者からの声	(1)良好とする評価
	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いた建物で、また訪れたい。 ○いろいろなワークショップを多く行って楽しい。 ○長野県宝でもあり、今後もしっかり維持して欲しい。 ○きれいに維持されていて落ち着く。 ○昔の生活が偲ばれる。 ○館内を見た後、喫茶コーナーでくつろげるのがいい。
	(2)苦情・改善の要望
	○駐車場が分かりにくい。
③対応措置	○丁寧に説明をして理解していただいている。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	3
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	◎	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	3
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	◎	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	◎	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 17 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1)今年度の取り組みに対する評価

企画展として、2016年度から開催している長野県ゆかりの工芸作家展で、陶芸の須坂市出身の土屋晃氏、小諸市在住の藤野貴則氏の展示を開催したほか、日本工芸会東日本支部長野研究会の工芸作品展を開催し、工芸に対する関心を高めることができた。

原則、毎月ワークショップを開催し、入館者、観覧料、雑収入等の増を図り、小田切家を知っていたく機会にもなった。

クラシック美術館と当館で「祖父龍子一川端龍子と岡信孝展」を開催し、二人の作品のすばらしさや岡画伯の画歴を示せる展示となった。

(2)課題

前年度より、入館者、観覧料、雑収入が増加したが、引き続き今後も旧小田切家住宅に多くの皆様に来ていただける取り組みを実施していくことが必要である。そのためにも広報活動に力を入れることが重要である。

(3)次年度以降の取り組み

沖縄県長野県観光交流協定記念展示として、「琉球の歴史と伝統工芸」の展示を実施する。

内山正一氏作成の日本家屋のミニチュアを展示する。

須坂の歴史を体験・研究するワークショップ「SUZAKA Lab」を実施する。各種ワークショップを実施する。

旧小田切家住宅12代当主小田切辰之助の功績を紙芝居にする。

喫茶事業で、オリジナルメニューの提供を行う。

7 市による総合評価

(1)今年度の取り組みに対する総合評価

施設の管理は概ね良好

毎朝、職員の出勤時には、館内清掃、整理整頓を実施しており、古い建物ながら、常時清潔感のある環境が保たれている。

多種多様なワークショップ等を数多く開催し、入館者の増加に繋がっている。

館内で喫茶コーナーを設け、期間限定メニューの提供などにより、物販と併せての雑収入が前年度比47%大きく増加した。